

校歌を「みんなで作ってみよう」
作詞・作曲 西宮中学校制定
昭和39年3月17日制定

「校歌委員会より報告」(昭和39年PTAだより)

昨年度、本校の校歌制定のために校歌委員会が設けられました。そして制定の方針などを決めました。その基本的な方針は「みんなで作ってみよう」ということでした。さっそく父母の皆様、生徒諸君より歌詞の募集をしました。ご応募くださった歌詞の中には、たいへん優れたものも多くありましたが、委員会でいろいろ話し合いをした結果、ご応募歌詞の精神を尊重し、委員会で作成することになりました。回を重ねて、ようやく出来上がりました。いま、作曲の段階に入っています。

【創立10周年記念号・生徒会誌「けやき」9号から】

「校章」制作者は 三田村 秀雄氏 (3期生 三田村有純さんのお父さまです)
昭和36年5月1日制定

「西宮中学校の徽章制定にあたりまして皆様方から数多くの優秀な図案を寄せていただきましてありがとうございました。応募数は150点あり、中には一人で数点お出し下さり、ていねいな解説までそれぞれつけられてありました。」

【生徒会誌「けやき」9号から】

◆◆◆「校章」デザインについて(漆芸家 三田村 秀雄氏)◆◆◆

現代性をもったシンプルな感じ、それでデリカシーなもの、純情な生徒たちの希望に燃えた感も溢れ、だれにも親しめ、校旗からバッジに至るまで、大小使用の考慮をする、この様に考えると校章デザインは容易なことではない。しかし、与えられたイメージを忠実にスケッチに試みる。その中の一枚が採用された次第、杉並区にふさわしく伸びる杉を三本互いに組ませ協力を表し、中に「西中」をゴシック風に扱い凡て円の構成によるもので、幸いに採用されたことは私美術家とし最大の喜びである。



西宮中学校創立のころ(分校時代の記憶)

年月日	主なことから
35・4・1	杉並区立宮前中学校西分校設置 校長・設楽 卓(宮前中本校と兼任) 場所・杉並区立高井戸第四小学校内 職員数、12名。
35・4・8	入学式、於杉並公会堂(本校と合同) 入学生徒数 男 213名、女 152名、 計 365名
35・4・28	PTA 創立総会を行い発足する 初代会長、藤沢与三氏
35・6・4	校舎新築促進のため請願書を区長・ 区議会議長に提出する
35・8・10	校地決定、地鎮祭を行う
36・2・6	新校舎の上棟式が行われる
36・4・1	杉並区立西宮中学校設置 独立校になる 初代校長、佐藤清三郎 就任
36・4・3	第一期工事完了、 普通教室 15、管理関係室 3 教諭 20、用務主事 2、事務主事 1、 警備員 2 発令
36・4・4	新校舎での西宮中学校が始まる

◆昭和35年4月8日、宮前中学校本校と、西宮中学校の前身である宮前中学校西分校との合同入学式が杉並公会堂で行われた(365名)。入学式を行う場所もなかったため、しかたなく公会堂を借用したのである。
◆高井戸第四小学校の一部を借りて開校した。最初は職員室の教師用机もなく、高四小より大きい大テーブルと椅子を借り、先生方はそのまわりを囲んで執務した。第1回生は、ここで1年間、不自由な、しかも借家住まいという気がねをしながら苦しみ耐えて生活したのである。
◆教員の私たちは、狭い運動場で、小学生と中学生がぶつかりはしないか、といつも気をつけていたが、生徒たちは借り受けた校舎よりあまり遠くへは行かず、近くで遊んでいた。本当にかわいそうだった。
◆教室といえば、普通教室4教室だけで、特別教室など望むべくもなかった。理科の実験道具などもほとんどなく、先生が試験管立てをもって、教室を行き来されていた姿が目にかぶ。
◆やっと校地が決まり地鎮祭が行われたのが、その年の8月であった。地鎮祭の場所は、今の校舎の東端の付近であったと思うが、あたり一面の野原で雑草が生い茂っていた。現在の体育館や給食室を除く主建築が完了して引き渡しを受けたのが昭和36年4月2日であった。職員・生徒・父母一同、一日千秋の思いでこの日を迎えた。喜びはたとえようもなかった。
◆これに先立ち、3月31日、生徒全員の手により引っ越しが行われ、各自家庭より段ボールをもちよって一日がかりで引っ越した。4月1日付けで初代校長の佐藤清三郎先生が着任され、名実ともに西宮中学校ができあがった。しかし、はじめは整地もしていず、門や塀もなく、原っぱに校舎だけが立つている感じだった。
(西分校主任 長野醇三)【生徒会誌「けやき」9号から】

西宮中学校
誕生物語

「日本一の中学校を
つくろう!!」
(1期生の思い)

《全校生徒から集めたペットボトルのキャップで作成した「50周年記念作品」の原画



杉並区立西宮中学校 50周年記念式典
けやき
“健やかに伸びよ櫟のごとく”

生徒会誌「けやき」は50年間、西宮中生の歴史を綴り続けてきた・・・



西宮中学校は「生徒の力でよい学校をつくる」学校です。第1期生の頃から「自主性」と「社会性」を大切にしてきました。生徒たちの手で記録をとどめた生徒会誌「けやき」は、昭和38年、第1期生の卒業を記念して創刊されました。今年で「50号」になります。【健やかに伸びよ櫟のごとく】は、初代校長 佐藤清三郎先生からのメッセージです。